ななやまだより 48 号

2020 年 1 月 12 日　なな山緑地の会発行

あけましておめでとうございます

昨年 5 月に年号が平成から令和にかわり「なな山緑地の会」も 17 年目を迎えました。今年は 56 年ぶりに東京でオリンピックが開かれます。しかし、なな山の自然の 16 年は特に目立った変化はありませんでした。例年通り、第二小学校恒例の「なな山で遊ぼう」のイベントには 200 人越えの児童、父兄が訪れて楽しい一日を過ごしてくれました。又一昨年に続き「三方の森ふれんどまつり」にも参加し多くの子供たちと触れ合うことが出来ました。

そして今年は多くの方々がなな山に見学に行きたいというお話があると聞いています。これは「なな山」を知っていただくいい機会になると思っています。

畑作業では、昨年初めてニンニク、エシャレット、ハヤトウリの栽培をしハヤトウリは多くの収穫があり、この夏のニンニク、エシャレットの収穫が楽しみです。

今年も事故、怪我もなく楽しく活動できるような一年でありますよう、会員のみなさま、関係各位のご支援、ご協力をお願いしてご挨拶とさせて頂きます。

令和二年一月

なな山緑地の会　会長　髙木直樹

ななや山植物誌

ヒイラギ　柊　モクセイ科

12 月末になると、なな山の広場入口の両脇にあるヒイラギの花が咲きます。白くて小さな花で目立ちませんが、モクセイ科なのでとても良い香りがします。ヒイラギの葉は若いうちは刺が痛いのですが、古木になると枝の上部の葉の刺は無くなり、丸い葉になります。また、なな山のトイレの脇にあるカクレミノの葉は、1 枚の葉が 3 つに分かれたり、5 つに分かれたりしていますが、幹の先端のほうの葉は 1 枚になります。異型（形）葉といい、幼木と成木で、あるいは成木の中でも違う葉の形になる木があります。なな山のヒイラギには異型葉は見られませんが、高尾山の 1 号路で 3 号路と分かれた先の左側にあるヒイラギには刺のない葉が見られます。ホルモンの働きでこのようなことが起こるようです。
他にもあるかも知れません。探してみましょう。（中原）

ヒイラギの花

ヒイラギの異型葉。中２枚は過度期のもの。

カクレミノの異型葉

三方の森ふれんどまつり

日にち：１０月５日（土）　場所：三方の森コミュニティ会館

三方の森ふれんどまつりに協力団体として昨年、一昨年に引き続き参加しました。
昨年は会場の都合で、広場にテントを張りヒンメリと木工工作で参加しました。女の子はヒンメリ作りを楽しみ、男の子は木工のクルリンカー作りで完成した車を坂で転がして喜んでいました。工作では、ぶんぶん独楽が人気で子供たちは皆んな熱心に製作し、回し方を教わって回ると笑顔いっぱいでした。中には大人も昔を懐かしんで作ってみようと参加する方もおられました。今年はもっと広い広場を活用した遊びができたらいいかなと思っています。

2015 年、多摩市の社会福祉協議会が音頭をとり、近隣の自治会、自主防災組織、特別養護老人ホーム、児童館、各種趣味の会等に声掛けして「三方の森ふれんど」をいうコニュニティーを立ち上げました。当初はこの地域は多摩市のなかでも、高齢者が多く、高齢者向けの活動が多かったのですが、子供にも目を向ける必要性があるとして 2018 年に子供たちと触れ合うお祭りを始めました。まだ 2 回目ですが多くの子供たちがあつまってくれました。これからも「なな山緑地の会」は協力団体として携わっていきたいと思っています。　（髙木）

熱心に木工工作を製作中

第二小学校なな山で遊ぼう

日にち：１２月１５日（土）

12 月 15 日（日）に多摩第二小学校「なな山で遊ぼう」開催されたがました。
参加者は子ども40人、保護者40人、主催の第二の小学校おやじの会15人なな山緑地の会の会員12人、その他5人総勢212人でした。準備はおやじの会となな山緑地の会で事前に行いました。
当日の遊びは 1. 7mの高さからのターザンロープ 2. 立木の間のブランコ 3. 長さ12mの落ち葉滑りと、滑り込む落ち葉のプール 4. 5mの一本梯子 5. ノボリ梯子（ワンタッチラダー）6. 10mの滑車付きターザンロープ 7. 幅6cm長さ15mのベルト綱渡りなど豊富な種類がそろっていました。
工作のコーナーは「作って飾ろう、作って遊ぼう」として 1. クリスマスリースづくり 2. クリスマス飾りづくり 3. ぶんぶんゴマ 4. シノダケで作るうぐいす笛 5. 丸太切り（太さの違う6種類）6. シノダケで作る弓矢 7. サンタさんの飾りづくり 8. その他自由工作と、こちらも種類豊富でした。お昼のお弁当タイムにはにはおやじの会から温かい豚汁、焚火焼き立ての焼き芋、そしてお茶が振る舞われました。心地よい日和の中、子どもたちはもちろん、保護者や主催者・協力者200人を超す誰もが、十分に楽しみ、笑顔と歓声が尽きない素晴らしいひと時を持つことが出来ました。

ターザンロープ

リースが完成

落葉滑り

お昼の豚汁

復活！　なな山自然観察会

日にち：12 月 21 日（土）

南鶴牧小学校　副校長　福田　章人

南鶴牧小学校の「なな山自然観察会」は、平成 24 年（2012 年）3 月に始めました。南鶴牧小学校の学区は多摩ニュータウン開発後に転居にされて来られた方の町にあります。子どもたちだけでなく、子どもたちの家族の方々にも昔の多摩ニュータウンの面影が残っている里山を体験していただき、この地域の里山の自然と文化を感じてもらいたいと考えたのがきっかけでした。春に 2 回、夏、秋、冬と季節ごとに観察会を実施したのは、同じフィールドを季節ごとに見ていくことで、季節による変化を感じてほしかったからです。6 年間続いた「なな山自然観察会」でしたが、職員の異動に伴い平成 30 年（2018 年）は途絶えてしまいました。

令和元年（2019 年）の秋に、春・夏は計画できなかった「なな山自然観察会」を復活しました。秋はこれまでも晩秋の紅葉シーズンに計画していましたが、実施当日、雨の予報が出ていたために延期して、行くことができたのは年も押し迫った 12 月 21 日となってしまいました。インフルエンザが流行していた影響もあり、子ども 5 名、大人 4 名、計 9 名の少人数で伺いました。当日は、寒い中でしたが、なな山緑地の会のたくさんの方にご案内いただき、西の山と中の山の観察だけでなく、落葉のそりすべり、ブランコで遊ばせていただきました。また、もう大きくなったカブトムシの幼虫を見たり、篠竹のヒンメリづくりやブンブンごまづくりを教えていただいたりして、充実した里山遊びをすることができ、子どもたちは大満足でした。昼食を食べた後、作った作品をおみやげに帰りました。春の観察会の日程も決まりました。今後ともよろしくお願いいたします。

深めよう会員の絆　リレー随筆

私愚者の初夢

相田幸一

穏やかな初冬の庭で、暖かい日差しを背中いっぱいに浴びながら、いつか夢の中に。
近くの雑木林の手入れで、計り知れない木工用の材料が手に入った。切り出した小枝を切り揃えたり削ったり、穴をあけたり、そんなことをしていると額に汗が浮かび、だんだん薄着になってくる。

近年の気候変動で、この冬も、暖かかったり、突然寒くなって、また暖かくなる。テレビやインターネットの気象情報は急激な温度変化で体調を崩しやすいから注意しろと口癖のように報じている。そして、これは地球温暖化の影響だという。それも、温室効果ガスの二酸化炭素のせいという。世界中の環境・気象関係者は皆、二酸化炭素を排出させないようにしようと、国際的な取り決めをして、全地球人に呼びかけている。夢の中で誰かのつぶやきが聞こえたような気がした。
60年以上もの昔、小学校だったか中学校だったかで理科の授業でこんな勉強をした。現代の地球の気候は第三間氷期で次の氷河期に向けての間、温度がどんどん上がっていく時期に当たっているというのだ。でも何時か、温度上昇が止まって急に冷えだすこともあり得ると。それの予測は全くわからないとも。だとすると、二酸化炭素の排出をゼロにしても温度変化は起きるのではないだろうか。この辺りを、理論的に説明してくれる人はいないかな。今はもっと詳細にこのことは解明されているのだとは思うのだが。その話は全然耳に入ってこないようなのだ。
畑の作物も、森の樹々も、地球全体が温かくなり早く成長が進む。そのおかげで人類の暮らしは豊かになり、野生の動植物も暮らしやすくなった。寒冷地を好んだ動物たちも、大部分は暖地に順応するようになった。海水面の上昇に対応して標高ゼロメートルに近いところに住む人たちは徐々により高い場所への移動を起こすようになった。人も動物も植物も、それぞれの叡智をフル活動させて、地球の楽園が実現した。
これは夢だったか。

なな山日記（活動・観察記録）

No. 372　2019年　9月　8日(日)　晴れ　気温　30℃
参加者　12人
台風 15 号接近にともない本日は午前中のみの活動となった。

● 作業/中の谷の刈払い・刈草集め、スイカの収穫・葛の撤去、カマ研ぎ等。
● 観察/センニチソウ、キツネノマゴ、ゴンズイ、ヒヨドリジョウゴ。

No. 373　2019年　9月22日(日)　晴れ　気温　27℃
参加者　21　人
本日は、体験学生が参加し、大人数での活動となった。

● 作業/遊歩道の落枝の処理、枯木・折損木の伐倒と後処理、ダイコンの種まき等。
● 観察/キバナアキギリ、クサギの実、ノササゲ。

No. 374　2019年10月13日(日)　晴れ　気温　27℃
参加者　14人
作業中 2 名がハチに刺された。大事には至らなかった。

● 作業/緑地内の台風被害調査、コナラ・サクラ枯木の伐倒・処理、広場・歩道沿いの仮払い等。
● 観察/ゴンズイ、オケラ、ハヤトウリ。

No. 375　2019年10月27日(日)　曇後晴　気温　22℃
参加者　21人
畑で種々の収穫があり、皆たくさんのお土産を持ち帰った。

● 作業/ハヤトウリ・ニラの収穫、飛び地の刈払い、ヤマザクラ・コナラの伐倒と処理、ダイコンの間引き等。
● 観察/キチジョウソウ、シイタケ。

No. 376　2019年11月10日(日)　晴　　気温　17℃
参加者　20人
サトイモ、サツマイモは共に昨年を上回る収穫があった。お昼には皆で試食をした。

● 作業/信号機付近の刈払い、サトイモ・サツマイモ・キノコの収穫、折れ枝の伐倒・雑木の整理等。
● 観察/ナメコ。

No. 377　2019年12月　1日(日)　曇後晴　気温　13℃
参加者　13人
前週の振替活動日。午後は第二小学校イベント準備のサポート。

● 作業/垂れ枝のコナラ伐倒と後処理、西の山東斜面の刈払い、中の山ヤマザクラの伐倒等。
● 観察/ヒイラギ、リンドウ。

No. 378　2019年12月　8日(日)　晴　　気温　14℃
参加者　19人
危険な木の伐倒が終わり、草刈り・清掃も完了。

● 作業/バス通り沿いの歩道の草刈り・清掃、枝垂れコナラの伐倒・後処理、法面の仮払い。
● 観察/センリョウ、マンリョウ。

No. 379　2019年12月22日(日)　曇　　気温　8℃
参加者　21人
午前中の作業後は毎年恒例の豚汁に加え、初めて餅つきをして皆で試食した。

● 作業/歩道の落葉掃き・清掃。法面のカヤ刈り。手作りの臼と杵を使い餅つき・試食。

餅つきで使われた臼と杵はなな山にある材料で手作りしました！

なな山だより　第48号　2020年　1月12日発行
発　　行　　なな山緑地の会
発行責任者　　髙木直樹
住　　所　　多摩市和田 1394-13
ホームページ　　https://nanayamaryokuti.jimdofree.com/
編集委員　　鎌田文雄　飯田歩